

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所
2024年度 パフォーマンス向上会議情報(2024年11月19日(火)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2024年11月19日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	<p>【窒素封入停止時に運転上の制限に到達する時間を評価するツールの計算式誤りについて】 当社社員が、窒素封入停止時における2・3号機の格納容器および圧力容器の水素濃度が運転上の制限に到達するまでの時間を評価するツールの計算式に誤りがあることを確認。 経緯を調べたところ、昨年度にツールの更新を行った際、計算式の一部を誤った数値に上書きしてしまったもの。 速やかにツールの計算式を修正するとともに、誤入力を防止する対策を実施。 なお、運転上の制限に到達するまでの時間は社内管理上の評価であり、2・3号機の格納容器および圧力容器への窒素封入停止も発生していないことから、当該ツールで評価を行っていた期間中の緊急時対応に影響はなかった。</p>	GⅢ	11月12日
2	<p>【第二セシウム吸着装置出口流量計(B)の故障について】 当社運転員が、免震重要棟集中監視室の監視盤において、待機中の第二セシウム吸着装置出口流量計(B)の不具合を示す警報の発生を確認。 現場確認の結果、当該流量計への電源の供給に異常はなかったが、本体のディスプレイ表示が消えており、復旧を試みたが表示されないことから、故障と判断。 今後、当該流量計の交換を実施予定。 なお、水処理については、第三セシウム吸着装置にて実施中、及びセシウム吸着装置を待機中としているため、運用に影響なし。</p>	GⅢ	11月15日
3	<p>【G3タンクエリアD1タンク水位計の故障について】 当社運転員が、免震重要棟集中監視室の監視盤において、G3タンクエリアD1タンク水位計の指示が計測範囲を逸脱していることを確認。 現場確認の結果、当該水位計において「メイン電子部故障」のエラー表示を確認したことから、故障と判断。 今後、当該水位計の交換を実施予定。 なお、水位計を交換するまでは、パトロールにて当該タンク廻りに漏えいがないこと、および1回/1日、隣接タンクとの連結弁の開閉操作を行い水位に変動がないことを確認する。</p>	GⅢ	11月16日